

島前高校だより

今月は、卒業を控えた3年生に西ノ島町や島前高校での生活を振り返ってもらいました。

私はこの3年を隠岐島前で過ごしました。その中でも、西ノ島は自分にとって特別な場所となりました。

私の島親さんは波止地区の矢野純子さんで、西ノ島のイベントと一緒に参加したり、テスト明けに食事に誘っていただいたり、本当にたくさんの思い出ができました。もし、島親さんがいなかったら、西ノ島の良さを知ることではできなかったと思います。島親さんを通じて、西ノ島のたくさんの方とつながることもできました。

このようなことを振り返ると、島親さんには感謝の気持ちで一杯です。島前高校を卒業してからも、このつながりを大切に、西ノ島に恩返しができるようにしたいです。

それから、西ノ島中学校も自分にとって特別な場所となりました。それは、土・日曜日になると西ノ島中学校に行かせていただき、バスケットボール部と活動していたからです。私は、島前高校にバスケットボール部をつくるための活動をしていました。そのため、中学生と一緒に練習したり、時には試合をしたりして共に高め合いました。この活動を通じて、「つながりを広げることで、可能性も広げることができる」ということを知りました。こういった活動で、ただ普通に部活動をするだけでは得ることができない経験をすることができました。また、西ノ島を訪ねることができたら、もう一度中学生と共に活動したいです。

私にとって、島前地域で暮らした3年間は素晴らしいものでした。3年の間には、不安になることも多くありました。そんな時に支えてくださった地域の方、先生方、そして高校の友達。自分はたくさんの人に助けられているということが分かりました。このことをしっかり意識し、次のステージでも頑張っていきます。



おがわ ともひろ
小川 智弘（滋賀県出身）
【島親：矢野 純子さん（波止）】

西ノ島で過ごしてきた18年を振り返ってみると、「良い人、優しい方々に囲まれて生活を送っていたのだな」と思います。例えば、釣りをしていると「釣れるか？」と話しかけてくれたり、挨拶をすると必ず笑顔で返してくれたり、考えるときりがありません。

西ノ島では、人が互いに助け合って生きています。

私は漁師さんの手伝いで、『魚外し』を手伝ったことがあります。その時は魚がたくさん獲れた時でした。以前から、大量の魚をどうやって外すのかが気になっていました。その時分かったのが、魚外しをする人の手際が良いことと、たくさんの方が手伝いに来ているということでした。その手伝いの人の多さに、僕は驚きました。

作業が終わると、それら全ての人にお礼の魚が渡されました。これが、「人と人が助け合いながら生きること」だと思いました。

小学校・中学校では、地域の方と触れ合う機会がとても多くありました。その中でも、お年寄りとの交流はとても良い経験になったと思います。お年寄りと話すと、自分の知らないことをたくさん知ることができ、知恵を得ることもできました。お年寄りがたくさんいることは、この島の利点だと思います。

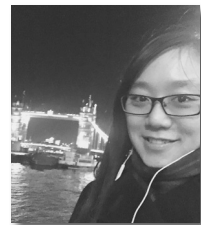
このように考えると、本当にたくさんの方が関わって下さったから、今の自分があると思います。いつか、このふるさと西ノ島に帰ってきたいと思います。ありがとうございました。また、これからもよろしくお願ひします。



しも じゅんや
志茂 準也
（小 向）

クレオ家（香港）の旧正月

春の陽気が待ち遠しい今日この頃、皆さんいかがお過ごしでしょうか。
今年の旧正月の元日は2月16日（金）ですので、今回は、我が家の旧正月の習慣について話したいと思います。



国際交流員
ウォン・チンイン・クレオ



旧正月にはどんな準備がありますか？

いっぱいあります！親戚のお家へ訪問する時に持っていくギフトと旧正月の食事会の食べ物や伝統的なお菓子を買いに行きます。色々なところを回って、いっぱい買い物して疲れますが、これも旧正月の醍醐味の1つです！

また、新しい服も買いに行ったりします。特に新しい靴が欲しい時は旧正月の前に買います！

靴の広東語での発音は、溜息の発音と同じですので、旧正月の期間（元日から15日まで）は絶対買いません！そうしないと、その年はあまり良くない年になると言われています。

買い物以外にも、大掃除をしたり、春聯（後述）を書いたり、お年玉の準備もしたりします。

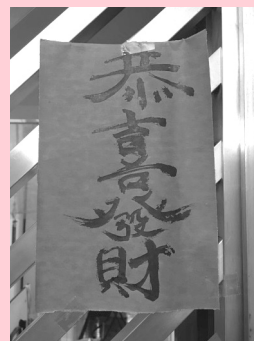


しめ飾りなどを飾りますか？

中華文化圏には、しめ飾りと門松はありませんが、旧正月飾りはいっぱいあります！

春聯はその1つです。春聯は広東語で「揮春（読み：ファイチョン）」と言います。筆を使って、赤い紙に縁起の良い言葉を書いて、壁や門に貼ります。市販の春聯もたくさんあります！

春聯以外には花を飾ります。旧正月に飾る花は「年花（広東語読み：ニンファー）」と呼ばれ、それぞれ縁起の良い意味を持っています。例えば、牡丹は「富貴（お金持ちでかつ地位や身分が高いこと）」、桔の実は「吉」の意味を持っています。また、綺麗に咲いている花は「花開富貴（広東語読み：ファーホイフグアイ）」、花が開いて富貴になるの意味を持っていますよ！



▲私が書いた春聯



日本の正月のように、おせち料理に似ている料理を食べますか？

中華文化圏ではおせち料理はありませんね（笑）元日は外食の習慣はありませんので、よくお家で食事をします。全家族が集まると非常に多人数となるため、料理の準備は早めにしないととても大変です！我が家では旧正月の数日前から食べ物を煮込んで、元日の朝や昼頃に野菜の料理などをします。

最近は旧正月の期間でも営業している店はいっぱいありますが、私が子どもの頃はコンビニや一部の飲食店とスーパーしか営業していなかったので、旧正月の前に必要な物を揃えないと大変なことになりました！



初詣はしますか？

私の親族にはいませんが、香港の方はよく旧正月の2日または3日に「車公廟（広東語読み：チャーコンミュ）」という道教のお寺へお参りに行きます。

境内にある銅製の風車を回すと幸運が訪れると信じられていますので、参拝に行く人々は必ずその風車を回します。

なぜかと言うと、中華文化圏では風車を回すと、自分の運も回り幸運になると考えられています。私も1度行ってみたいと考えています！



▲旧正月の時はマージャンもします！こちらのパターンは混一色（ホンイーソー）といいます。